

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2010-250848(P2010-250848A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2010-138882(P2010-138882)

【国際特許分類】

G 06 F 21/24 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/14 5 5 0 A

G 11 B 20/10 H

G 11 B 20/10 3 1 1

G 11 B 20/10 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月19日(2011.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】デジタル情報記録再生装置、デジタル情報記録再生方法、デジタル情報送信方法、および、デジタル情報送受信方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的は、その一例として特許請求の範囲に記載の構成により達成できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像情報または音声情報を含むデジタル情報を記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生して出力するデジタル情報記録再生装置において、

前記デジタル情報と、前記デジタル情報のコピーの制限を示す第1の制御情報を受信する受信手段と、

受信した前記デジタル情報を前記記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生手段と、

前記記録媒体から再生したデジタル情報に該デジタル情報のコピーの制限を示す第2のコピー制御情報を付随させて出力する出力手段と、

前記記録再生手段と前記出力手段とを制御する制御手段とを備え、

前記第1の制御情報は、受信した前記デジタル情報のコピー可能な期間を示す情報を含み、

前記制御手段は、

前記記録再生手段において、受信した前記デジタル情報を前記記録媒体に記録し、記録したデジタル情報を前記記録媒体から再生するように制御し、

前記記録再生手段において前記記録媒体に記録した前記デジタル情報を再生する際の制御状態には、

前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間内であるときに、再生したデジタル情報に1世代コピー可であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて前記出力手段より出力させる第1の制御状態と、

前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間を過ぎたときに、再生したデジタル情報にコピーが禁止であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて前記出力手段より出力させる第2の制御状態とがあることを特徴とするデジタル情報記録再生装置。

【請求項2】

映像情報または音声情報を含むデジタル情報を記録再生装置において記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生して出力するデジタル情報記録再生方法において、

前記デジタル情報を受信し、

前記デジタル情報のコピーの制限を示す第1の制御情報を受信し、
受信した前記デジタル情報を前記記録媒体に記録し、

記録したデジタル情報を前記記録媒体から再生し、

前記第1の制御情報は、受信した前記デジタル情報のコピー可能な期間を示す情報を含み、

前記記録媒体に記録した前記デジタル情報を再生する際の再生状態には、

前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間内であるときに、再生したデジタル情報に1世代コピー可であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて出力する第1の状態と、

前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間を過ぎたときに、再生した前記デジタル情報にコピーが禁止であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて出力する第2の状態とがあることを特徴とするデジタル情報記録再生方法。

【請求項3】

映像情報または音声情報を含むデジタル情報を記録再生装置に送信するデジタル情報送信方法において、

前記デジタル情報を送信し、

前記デジタル情報のコピーの制限を示す第1の制御情報を送信し、
前記第1の制御情報は、

前記デジタル情報のコピー可能な期間を含み、

前記デジタル情報を前記記録再生装置において受信して記録し、再生する際に、前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間内であるときに、再生したデジタル情報に1世代コピー可であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて出力させ、前記第1の制御情報が示すコピー可能な期間を過ぎたときに、再生したデジタル情報にコピーが禁止であることを示す第2のコピー制御情報を付随させて出力させることを示す情報をあるこ

とを特徴とするディジタル情報送信方法。

【請求項 4】

映像情報または音声情報を含むディジタル情報を送信し、受信するディジタル情報送受信方法において、

前記ディジタル情報を送信し、

前記ディジタル情報のコピーの制限を示す第 1 の制御情報を送信し、

前記ディジタル情報を受信し、

前記第 1 の制御情報を受信し、

受信した前記ディジタル情報を記録媒体に記録し、

記録したディジタル情報を前記記録媒体から再生し、

前記第 1 の制御情報は、受信した前記ディジタル情報のコピー可能な期間を示す情報を含み、

前記記録媒体に記録した前記ディジタル情報を再生する際の再生状態には、

前記第 1 の制御情報が示すコピー可能な期間内であるときに、再生したディジタル情報に 1 世代コピー可であることを示す第 2 のコピー制御情報を付随させて出力する第 1 の状態と、

前記第 1 の制御情報が示すコピー可能な期間を過ぎたときに、再生したディジタル情報にコピーが禁止であることを示す第 2 のコピー制御情報を付随させて出力する第 2 の状態とがあることを特徴とするディジタル情報送受信方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 5 に記載のディジタル情報記録再生装置であって、

前記記録媒体は取外しできないハードディスクであることを特徴とするディジタル情報記録再生装置。